

4 電力流通

● ルーマニア トランスエレクトリカ社ブラジベスト400 kV変電所向け GIS化工事(第1期)を完了

ルーマニア国営電力会社のトランスエレクトリカ社400/220 kVブラジベスト変電所の更新工事第1期分として、400 kV変電所の建設工事を2006年4月に完了し、5月に受電に成功した。

この工事は、既設の気中絶縁変電所の老朽化に伴う更新工事で、一括受注した契約形態は、420 kV及び245 kVガス絶縁開閉装置(GIS)、デジタル制御・保護装置などの変電所機器一式の供給、土木・据付け工事、及びコミッションング試験を含むフルターンキーである。

ここでは、工事中の停電期間の短縮、据付けスペースの制約、工業地帯の汚損環境などの立地条件から、コンパクトであり、信頼性、安全性、環境適応性、及び対汚損性能に優れたGISが採用された。このプロジェクトがルーマニアにおけるGIS適用の第1号変電所である。



ルーマニア ブラジベスト変電所における420 kV GIS
420 kV gas-insulated switchgear (GIS) at Brazi Vest Substation, Romania

● 東京電力(株)松田制御所向け 水力発電所集中監視制御システムの運用開始

東京電力(株)水力発電所向けにオープン分散型の集中監視制御システムを開発し、松田制御所に納入、2006年6月に運用を開始した。

このシステムの基本機能は、東京電力(株)水力システム標準として開発したもので、松田制御所は、この標準機能を適用した当社1号機となる。ワークステーション、UNIX、プロジェクト型総合監視盤などの汎用技術の適用や、既存システムとの制御卓の共有などにより、省スペース化とコストダウンを図るとともに、当社標準の電力用イントラネットミドルウェアの活用によって、高品質とオープン性を確保している。



東京電力(株)松田制御所の制御室
Control room at Matsuda Control Center of The Tokyo Electric Power Co., Inc.

● 九州電力(株)小丸川発電所向け 710 MVA主要変圧器を据付け完了

小丸川発電所は、九州電力(株)で第3番目の純揚水発電所として宮崎県小丸川水系に建設中であり、完成後には最大出力120万 kWとなる。

この発電所の16.5 kV/505 kV - 710 MVA主要変圧器2台を受注し、1台目を2006年6月に据付け完了した。地下に設けた発電所構内に設置されるため、輸送条件及び現地据付けスペースの面で厳しい制約があったが、当社の独自工法である新技術適用分解輸送現地組立形(ASA: Advanced Site Assembly)変圧器を採用し、予定どおり据付け工事を完了した。今後、2台目の据付け工事を行い、完成後は電力供給の安定確保に大きく貢献することが期待されている。



据付け工事中の九州電力(株)小丸川発電所向け 710 MVA 主要変圧器
Installation of 710 MVA main transformer for Omarugawa Power Station of Kyushu Electric Power Co., Inc.